

1→10drive が空間を認識する「3D トラッカー」の開発体制を整備
～ VR 体験をよりリッチに、IoT をより便利にするデバイス ～

株式会社ワン・トゥー・テン・ホールディングス（本社：京都市、東京オフィス：品川区、代表：澤邊芳明、以下 ワントゥーテン）のグループ企業である、株式会社ワン・トゥー・テン・ドライブ（同、代表：梅田亮、以下 1→10drive）は、様々な形状に対応する「3D トラッカー」（センサーにより空間を認識し、位置関係を 3D でトラッキングするデバイス）の開発体制を立ち上げました。

これにより、VR 体験をよりリッチにする VR 用コントローラーをはじめ、さまざまな IoT への活用が可能となります。

1→10drive は、3D トラッカーの開発、生産だけでなく、それを利用する体験全体の企画から立案できる体制が整っております。

■ 3D トラッカーの応用例



・ VR 空間での戦闘体験用の剣型や銃型のコントローラー



- ・飛行を精緻に制御可能な室内用小型ドローン

その他

- ・所作で家電をコントロールできるスティック型 IoT リモコン
- ・撮影位置や角度を自動把握することで、VR 体験者と CG 空間とを自動合成できるカメラデバイス
- ・照射対象の形状に自動的に映像を合わせることが可能なムービング・プロジェクションマッピング・システム

■テクノロジーについて

本件は、HTC Vive などで使用されている、3次元の物体をVR空間で認識する「Lighthouse」という技術のパートナーシッププログラムをベースとしております。

1→10drive CTOの森岡が、シアトルSynapse社で開催された対面研修プログラム『SteamVR Tracking Training』を修了した上で、上記テクノロジーを活用しております。

また、当社プロダクトデザインチームとエンジニアチームの連携により、案件に最適な形状の回路設計とプロダクトデザインが可能です。

■1→10drive CTO 森岡のコメント



HTC VIVE のトラッキングシステム『Lighthouse』はコストの低さと精度の高さから、様々な用途へ広がっていきこうとしています。ただし、そのためにはトラッキングデバイスであるコントローラが汎用のゲーム機として特化した形状・機能になっていることが障害になっています。そこでシアトルにて講習を受講し、より実践的なノウハウを獲得し、オリジナル筐体のトラッキングデバイスを開発できるよう体制を整えました。今後は、アミューズメント用途のオリジナルトラッキングデバイスやAR用途の開発環境など、Lighthouse を利用したオリジナルデバイスの開発を予定しております。

プロフィール：

1→10drive, Inc. CTO 兼 Technical Director。工学修士。

東京工芸大学に大学院にてヒトの視覚についての研究を行う。

2009 年単位取得退学。

2009 年よりニューリー株式会社にて 3D スキャナ及び画像認識装置の研究開発を行う。

2014 年 4 月より 1→10design, Inc. に参加。

2015 年 10 月、1→10drive 立ち上げに伴い移籍。

【1→10drive について】

2015 年設立。「Brand Prototyping Company」を理念に掲げ、モノやサービスにおけるプロトタイプ開発から商品化までを手掛けている。

現状は AI と IoT を事業領域の軸にしつつ、新たなテクノロジーは積極的に取り入れる体制で開発にあたっている。

開発においては、企業と協調し、ブランド価値を根本からつくり込んだプロトタイプを開発し、次世代に残る商品ブランド/サービスブランドとなることを常に目指している。

Web サイト：<http://www.1-10.com/drive/>

[本件に関する問い合わせ先]

ワントゥーテン 担当：五明（東京オフィス）

電話：03-5781-3600 MAIL：pr@1-10.com